

動かなければ集まらない

大阪歯科技工士連絡会・西川勝美



2018年の診療報酬改定へ向け大阪から署名3万筆を国会へ届けよう



「保険で良い歯科」を求める署名活動に、歯科技工士として参加しています

「保険がきくのか、きかないのかわからない」「治療が終わるまで、いくら掛かるか不安」

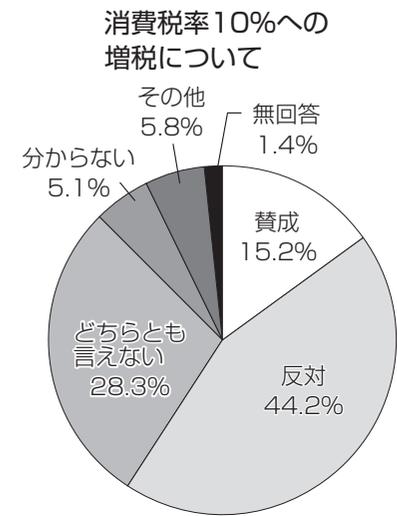
「保険で良い歯科」を求め、署名を集めようと思いませんか

2016年度 会員意見調査

消費税

「社会保障財源」について意見を求めた。「社会保障の予算割合を増やす」が51.4%と最も多く、次いで「公共事業を減らす」が31.9%。

10%増に反対が44.2%



10月に実施する消費税10%への増税についても意見を聞いた。「反対」が44.2%で最多を占め、次いで「どちらとも言えない」が28.3%。

社会保障充実を掲げて14年4月に第二次安倍内閣が実施した8%への引き上げのうち、社会保障財源に使われたのは増収分のわずか1割程度にすぎなかった。

特別徴収通知書のマイナンバー

経税部 求められる適切な対応

た。番号を記載しない自治体もあるが、大阪府内では少なくとも自治体が番号記載の通知書を送っている(表1)。事業主には通知書に記載されたマイナンバーを保管する

従業員マイナンバーを記載した「特別徴収税額決定通知書」が、今年5月末までに地方自治体から各医療機関に送られる

特別徴収とは、給与から住民税を天引きして、事業主が自治体に納付する仕組み。特別徴収通知書への記載によって、事業者は強制的にマイナンバーを扱う「関係事務実施者」となるのか否かが問われる。

表1 大阪府内で自治体の対応状況

Table with 2 columns: 番号通知 (Number of municipalities) and 番号非通知 (Number of municipalities not using numbers). Lists municipalities like Abeno, Suita, etc.

表2 安全管理体制のポイント

- マイナンバーを利用する事務・情報を限定する
マイナンバーを取り扱う人(職員)を決める
利用目的が済んだマイナンバーは速やかに削除・廃棄する

表3 特別徴収通知書のマイナンバーの取り扱い

- 【保管する場合】従業員に説明し、安全管理措置下で厳重に管理する
【保管しない場合】マイナンバーをマスキング(マジック等で画面塗りつぶすかテープで隠す)し、日時を記録する

春夏秋冬

堺市長選挙

自治都市堺を発展させるのか、堺をなくす都構想を進めるのか

「維新暴走政治」にノーの審判を下し、「市民目線」の竹山おさみ市政継続で子育て、教育、医療を守り前進させる新たなステップにすることが求め

市民目線の改革発展へ

4年前、「堺はひとつ。堺をなくすな」を合言葉に堺市民は党派を超えて共同を広げ

「大阪都 構想」に「1」を突きつけた。竹山市政のもと「市民目線」の改革

学生通学定期補助をすすめ、「おでかけ応援バス」の利用を広げる

は、トップクラスだ。市民一人当たりの市債は、堺市が大阪市の約半分、20政令市中5番目に少ない。

それはもかかわらず、市長選挙では「都構想は争点にならない」(松井知事)と都構想隠しに終始する。

し、敬老バスの自己負担化、コミュニティバスの廃止、黒字の地下鉄民営化を進めるなど、福祉・医療・暮らしの切り捨てを進めたとは真逆だ。

下された。ところが、維新は大阪市の廃止と「特別区」の設置を具

とは明らかだ。維新府政は府民の福祉施策を切り捨てる一方で、淀川左岸線や地下鉄などに

市長選挙で竹山市長を勝利させ、「都構想・維新政治ノー」の市民共同をさらに広げるステップにしよう。



オーラルフレイルを学習

北河内地区

北河内地区は7月22日、「要介護高齢者の訪問歯科とオーラルフレイル」をテーマに講習会を開催した。

これらを見直し適切に対応することが、要介護者を生みないための重要な手立てとなる。

吉田氏は要介護患者の事例を紹介した上で、口腔機能の改善に必要な座位の確立、QOLの向上を目的とした経口摂取、栄養指導の意義などについて解説。

歯科的な介入が不可欠であると指摘し、「診療している患者のオーラルフレイルの兆候を見つけてし、事前に予防策を講じることが歯科医療職の意義深い役割だ」と強調した。

ファイバーポストを解説

西部地区

西部地区は6日に「保険治療でどこまでできる審美的歯冠修復治療」を開き、68人が参加した。

西部地区は6日に「保険治療でどこまでできる審美的歯冠修復治療」を開き、68人が参加した。

等の欠点もあるとし、「患者はできれば金属による治療を望んでおらず、ファイバーポストとCAD/CAM冠の保険導入により、保険診療に審美歯科の可能性が広がった」と語った。

の保持を目的とし、咬合圧を受け止めるものではないと解説。ファイバーポストとコンポジットレジンコアは、クラウンマニッシュを歯質に置き、咬合力を歯質とコア部にかけるファイバーにかけないようアドバイスした。

全身的フレイルの前兆として位置づけられる「オーラルフレイル」。

その特徴は、①滑舌の衰え②食べこぼし③僅かの根折折や天然歯色再現の困難さ、金属アレルギー

金属コアポストが歯質を補強して咬合圧を受け止めるのに対し、ファイバーポストは歯冠部コア

CAD/CAM冠の脱離・破折を防ぐには、支台歯形成、冠の適合性、装着操作の各ステップを確実に行うことが望ましいと強調した。

(港区・井村久史)